

特色ある取り組みを行っている大学

区 分	静岡産業大学（私立）	松本大学（私立）	高崎経済大学（高崎市立）
大学経営での特色	<ul style="list-style-type: none"> ○学長が強力なリーダーシップを発揮し、大学の目標を「研究」ではなく、「学生の教育」として明確にしている。 ・産業界や地域社会が求めている人材を徹底的に調べ、ニーズに合った人材を育成 ・主に県内から学生を集め、大学教育において大化けさせる ・県内出身比率は、情報学部95%、経営学部80% ・推薦入試で定員の約80%を確保 ・就職指導を1年次から実施 ○教員には、改善目標を毎年提出させ、初回2年、その後は4年毎の更新制 ○企業、行政、団体による講座（21講座）を設置し、無償で企業等の専門家が講師を務める。 ○スポーツ施設を市民に開放、学生がスポーツ教室を開催するなどの地域貢献を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地元の高校生を集め、4年間徹底的に学生を鍛え、社会人として育成し、地元に戻すという大学を目指す。 ・小規模大学ならではの、教員一生徒間で常に顔が見える関係を活かす。 ・地域に出て地元の人々と接することにより、コミュニケーション能力、自己コントロール能力を向上 ・地域からも様々な問題が持ち込まれ、それを教育の一環として解決することにより、地元の人から地域の大学として信頼を得ている。 (地域づくり考房「ゆめ」) ○入学生確保のため、出前授業に力を入れている ○就職支援のため、キャリアカウンセラー50人と契約し、入学前から全学生のカウンセリングを実施 ○文部科学省の競争的資金を獲得することにより、教職員のモチベーションアップ、対外的なアピールにつなげている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育、研究と並ぶ柱に地域貢献を据え、積極的に学生の地域活動を推進 ・2つの研究所を核とした企業、自治体等との連携、ゼミ活動を中心とした地域連携を実施 ・文部科学省の競争的資金を獲得することにより、全学で地域連携に取り組む ・地域をフィールドとすることにより、学生が成長。就職においても実体験を語ることができる。 ○入学生確保のため、県内32校（学長・副学長）、県外222校（教員33人）を訪問して説明。
地元との関係	<ul style="list-style-type: none"> ○高校への説明のため3人の担当者を置く ○学内の各研究センターが業界と連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○大学の教育内容が評価され地域の2、3番手の進学校からの入学生も増加 	<ul style="list-style-type: none"> ○企業には、OBが多いこともあり、経済界との関係は良好。
志願者・入学者数	<ul style="list-style-type: none"> (入学定員：510名) ・22年入試 志願者：900名、入学者：630名 ・21年入試 " 950 " 622 	<ul style="list-style-type: none"> (入学定員：320名) ・22年入試 志願者：597名、入学者：370名 ・21年入試 " 649名 " 393名 	<ul style="list-style-type: none"> (入学定員：900名) ・22年入試 志願者：7,071名、入学者：763名 ・21年入試 " 6,480名 " 764名 <li style="text-align: right;">*一般選抜にかかるもの
就職状況 (就職内定率)	<ul style="list-style-type: none"> ・22年3月卒業生 86.3% ・21年 " 91.9% ・20年 " 96.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・22年3月卒業生 約90% ・21年 " 約94% ・20年 " 約94% 	<ul style="list-style-type: none"> ・22年3月卒業生 91.4% ・21年 " 97.7% ・20年 " 98.3%